



平成21年10月22日

各位

タツタ電線株式会社  
(代表者名) 取締役社長 藤江 修也  
(コード番号5809 東証・大証第1部)  
(問合せ先) 取締役 総務部 経理・財務担当部長 松本 一郎  
TEL(06)6721-3011(代表)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成22年3月期(平成21年4月1日~平成22年3月31日)の業績予想について下記の通り修正いたします。

#### 1. 平成22年3月期 連結業績予想の修正

(1) 第2四半期累計期間(平成21年4月1日~平成21年9月30日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当り四半期純利益
前回発表予想(A) (平成21年9月10日発表)	17,000	200	230	250	3円83銭
今回発表予想(B)	16,400	350	390	370	5円74銭
増減額(B-A)	600	150	160	120	
増減率(%)	3.5	75.0	69.6	48.0	
(ご参考) 前期実績	26,175	1,365	1,429	883	13円02銭

(2) 通期累計期間(平成21年4月1日~平成22年3月31日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当り当期純利益
前回発表予想(A) (平成21年4月30日発表)	39,000	750	850	550	8円44銭
今回発表予想(B)	35,500	750	800	550	8円44銭
増減額(B-A)	3,500		50		
増減率(%)	9.0		5.9		
(ご参考) 前期実績	44,469	391	482	387	5円77銭

## 修正の理由

### (1)第2四半期累計期間(平成21年4月1日~平成21年9月30日)

建設・電販部門を中心とした電線・ケーブル部門の低迷により、売上高は、前回予想値を下回る見込みですが、電子材料需要は順調に回復しており、営業利益、経常利益、四半期純利益は前回予想値を上回る見込みであります。

### (2)通期累計期間(平成21年4月1日~平成22年3月31日)

電子材料需要は順調に回復していますが、工場、住宅等の建設投資低迷による、建設・電販分野の電線需要や機械向け電線の不振、F T T H向け光ファイバーケーブルの減販により、売上高は、前回予想値を下回る見込みであります。

利益面では、営業利益は、電線・ケーブル部門の落ち込みを電子材料部門で補い、ほぼ前回並みと見込んでおります。経常利益は、営業外収益の減少により前回予想値を下回りますが、当期純利益は、特別利益の増加により、前回予想値並みとなる見込みであります。

上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績値は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上